令和6年度第1回宮城県私立学校審議会 議事録

1 日 時 令和6年10月28日（月）午後3時00分から

2 会 場 県行政庁舎11階 第二会議室

3 出席者

- (1) 出席委員 加藤雄彦（会長）（審議事項「二」以降退席）、鈴木里香、
三塚薫（審議事項「ハ」より出席）、小川せつ子、根來興宜、鈴木一樹、
中釜志保美、佐藤哲也、上村ちはる、菅原通悦
- (2) 欠席委員 五十嵐征彦、千葉剛、後藤武俊、後藤篤

4 議 題

(1) 副会長の選任

(2) 審議事項

- イ 高等学校の広域の通信制課程に係る学則の変更について（仙台白百合学園高等学校）
- ロ 高等学校の広域の通信制課程の設置について（東北生活文化大学高等学校）
- ハ 高等学校の広域の通信制課程の収容定員に係る学則の変更について（飛鳥未来きずな高等学校）
- ニ 高等学校の広域の通信制課程の収容定員に係る学則の変更について（仙台育英学園高等学校）
- ホ 各種学校の収容定員に係る学則の変更について（環球日本語学習院）
- へ 各種学校の設置者の変更について（奥山編物学院）
- ト 各種学校の廃止について（奥山編物学院）
- チ 各種学校の廃止について（宮城県塩釜医師会附属准看護学院）
- リ 幼稚園の設置者の変更について（睦幼稚園）
- ヌ 幼稚園の廃止について（睦幼稚園）
- ル 幼稚園の廃止について（志波幼稚園）
- ヲ 幼稚園の廃止について（登米幼稚園）
- ワ 学校法人の解散について（とよま平和学園）
- カ 学校法人の解散について（いずみ学園）

(3) その他

5 議事の経過

事務局から、本日の会議の出席者が定足数を満たしたので、会議が有効に成立している旨の報告があった。

加藤部会長が審議会運営規程第3条第1項の規定により議長となった。

議長は議事録署名人として、鈴木里香委員と根來委員を指名した。

(1) 副会長の選任

委員による互選の結果、副会長には鈴木一樹委員と根來委員が選任された。

会長は、鈴木一樹委員を第1順位の副会長に、根來委員を第2順位の副会長に指名した。

(2) 調査審議事項

イ 高等学校の広域の通信制課程に係る学則の変更について（仙台白百合学園高等学校）

本件の利害関係者である鈴木里香委員が退席した後、事務局から資料により説明を行った。

(菅原委員) 7ページ第三章の、修業年限のところを見ていただくと、「修業年限3年以上」というのは、これは国の大きな指針の中にも制度上位置づけられているわけですし、一般的には他の通信制課程を持っている高校では、修業年限は3年以上とするというところで押さえているわけですが、アッパーのところを、6年を超えることはできないという規定になっていまして、ここのところが、通信制課程の多くのその課題なり背景なりを持っている。高校生とは限りませんし、成人も含めて様々あるわけで、ここのところをあえて6年としたことについての考えがもし白百合さんにあるのであればということ、例えば8ページの第19条に再入学の件があってフォローしていますので、これはセットとして見るべきなのか、私自身、どう考えたらいいのか、教育課程と直接には結びつきませんが、学則変更できていますので、事務局の方で後でも結構ですので確かめていただければという、私自身の意見です。

(事務局) 菅原委員から御指摘いただいた点につきましては、高校にこの部分について確認をしていませんでしたので、後日、どういう意図があるのか、追って確認をさせていただければと思います。お答えを持ち合わせてないということで、申し訳ございません。

(加藤会長) 一般論ですけど、この修業年限の上限を定めるということについては、設置者の意思だと。仙台白百合さんが通信制過程を当初作った時からこういうお考えでいたと伺っていますし、6年を超えるようなことになれば、やっぱり一回除籍だよねと。だから再びチャンスということで、再度入学することもできるという部分でとらえているのだと。上限を設けるプラス再入学という、そういうひとつのセーフティネットを設けているという説明は、以前伺ったことがありますけれども、これはあくまで設置者の考えだと思います。

審議会として了承される。

ロ 高等学校の広域の通信制課程の設置について（東北生活文化大学高等学校）

鈴木里香委員の着席後、加藤部会長は、小学校・中学校・高等学校部会において調査審議した結果、本件を了承した旨、報告した。

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

ハ 高等学校の広域の通信制課程の収容定員に係る学則の変更について（飛鳥未来きずな高等学校）

加藤部会長は、小学校・中学校・高等学校部会において調査審議した結果、本件を附帯意見付きで了

承した旨、報告した。

事務局から資料により説明を行った。

本件から、三塚委員が審議に参加した。

特に質疑なく、審議会として了承される。

ニ 高等学校の広域の通信制課程の收容定員に係る学則の変更について（仙台育英学園高等学校）

加藤部会長は、小学校・中学校・高等学校部会において調査審議した結果、本件を了承した旨、報告した。

所用のため加藤会長が退席し、会長の職務代理として、鈴木一樹副会長が以降の議事進行を行った。

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

ホ 各種学校の收容定員に係る学則の変更について（環球日本語学習院）

鈴木一樹部会長は、幼稚園・専修学校・各種学校部会において調査審議した結果、本件を了承した旨、報告した。

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

へ 各種学校の設置者の変更について（奥山編物学院）

ト 各種学校の廃止について（奥山編物学院）

関連する案件のため、2件を一括して審議が行われた。

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

チ 各種学校の廃止について（宮城県塩釜医師会附属准看護学院）

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

リ 幼稚園の設置者の変更について（睦幼稚園）

ヌ 幼稚園の廃止について（睦幼稚園）

関連する案件のため、2件を一括して審議が行われた。

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

ル 幼稚園の廃止について（志波幼稚園）

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

ヲ 幼稚園の廃止について（登米幼稚園）

ワ 学校法人の解散について（とよま平和学園）

関連する案件のため、2件を一括して審議が行われた。

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

カ 学校法人の解散について（いずみ学園）

事務局から資料により説明を行った。

特に質疑なく、審議会として了承される。

（3）その他

（菅原委員）今日の後半部分からの審議事項との関連ですが、例えば146ページのような奥山編物学院さんのように、実質30年も休校状態ですとか、あと他にもそれに類した学校が今回ございました。基本的には学校側からの申請に基づいて、県としては学校数等々の数を確定して統計上は処理しているのでしょうけれども、実際こう見ると30年も休眠状態っていうことですね。そうすると実際、申請があって、それを理事会、この場で受け入れて初めてその学校がなくなるという段取りになるわけですので、そうした場合に実態と実数と学校数との関係が、数多い例ではないのでしょうけれども、ギャップはあるのでしょうね。実際、県の中にはそういった休眠状態という言葉が当たっているかどうか分かりませんが、実態とそぐわないような実数が、統計上公的な数字としてあるのだとすれば、大きな問題にはならないと思うのですが、どこかに統計上の数として、各種学校何校ですとなるのだらうと思います。その辺のところ、事務局の方もだいぶ配慮されているのだと思いますし、やむを得ない部分は十分理解できるのですが、今後働きかけをできるのであれば、やっていったほうが良いのかな。あるいはもう既にやっていますということなのか、今回、何校かの例が後半部分出てきて、私の感じたことを述べさせていただきました。

（事務局）今回の奥山編物学院さん、個別事案でございますが、その設置者の方、平成22年に他界したのが事実でございますが、専各連の方から当該団体を脱退したとの情報提供を受けておりました。それを踏まえまして、事務局といたしましても、適宜、設置者の息子さんとお孫さんなどについて状況を確認してきたところでございます。その中で、奥山編物学院につきましては、相続整理の関係がございましたので、今回に至ってしまったというところでございます。

あと、県内の専修学校、各種学校におきまして、おっしゃるとおり休眠になっている学校はいくつかございます。休眠届が出ているところは、まさに解散かあるいは再開に向けて検討しているところかと思いますが、今回の奥山編物学院さんのように、実質的な休眠になっている学校がまだいくつかございます。事務局といたしましては、そういった学校につきましては、毎年度の調査の時もそうですし、あるいは適宜状況を確認しているというところでございまして、確かにずっとそういう放置されているような状態はあまりよろしくないと思いますので、適宜お声がけをさせていただきながら、適切に対応していきたいと考えてございます。

以上